

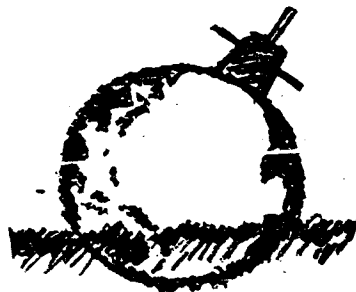
月刊反トマホーク通信

No. 20
87.6.20
定価 100円

東京都渋谷区渋谷2-5-9 バル青山502 トマ喰い虫社 ☎03(498)6095



WONT YOU LAY DOWN
YOUR NUCLEAR ARMS!
DOWN BY THE HARBOUR SIDE
DOWN BY THE HARBOUR SIDE
DOWN BY THE HARBOUR SIDE
WONT YOU LAY DOWN
YOUR NUCLEAR ARMS
DOWN BY THE HARBOUR SIDE
DOWN BY THE HARBOUR SIDE
OH, PLEASE DONT
STUDY WAR NO MORE!
PLEASE DONT STUDY WAR NO MORE!
PLEASE DONT STUDY WAR NO MORE!
OH, PLEASE DONT
STUDY WAR NO MORE!
PLEASE DONT STUDY WAR NO MORE!
PLEASE DONT STUDY WAR NO MORE!



〔核兵器を海辺におすてなさい／どうかもう戦争のお稽古は止めて！〕

昨年来日したオーストラリアのジョー・ヘイターさんに教えてもらった歌。節はアメリカの古い歌“DOWN BY THE RIVER SIDE”で。5月31日、ヨコスカのデモ、ゲートの前で歌ってみました。

トマホークの配備を許すな！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

●参加会員（月間会費）

●通信会員

団体 1日 2000円
個人 1日 1000円

団体 1日 1000円
個人 1日 500円

年間
2000円

あなたも仲間！

海の軍備撤廃のための国際週末共同行動

「五・三二核艦船おごとわりー呉キャンペーン」

呉 第二のメリルを許さないために

「海の軍備撤廃を国際ウィークエンド」最終日の午後一時から三時まで、私たちは呉の繁華街中通りで座り込み核艦船拒否を呉市長に求めるハガキを出そうと市民に訴えた。昨年八月、呉に駆逐艦メリルが入港した。



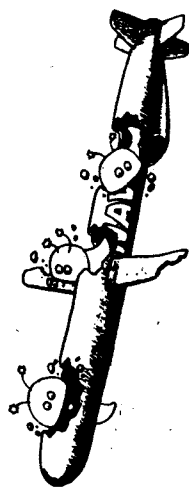
メリルは核トマホークを積んでいることがほぼ確実で、その日核爆広島県は、史上初めて核の発射基地とみなされる事態を迎えた。今、「被爆県」の非核が試されている。私たちはこの重大な挑戦に真向から立向かっていくことを広島市の反核運動の柱にせねばと考え、小さな試みを開始した。

呉への核艦船の入港を具体的に止めようとまず私たち自身が思込むことが大切である。呉市民、広島県民の多くが、その思いを共有するとき、状況はかわりうるのではないか。その手がかりをうるために、とりあえず核艦船の入港に際しては、「核はないという証明のない核艦船の呉入港を拒否」としてほしいという要請ハガキを市長に出そうという運動を始めたのである。子供も含め三十五人ほどの小規模な行動だったが、ある者はプラカードをもって座り、子供たちは「読んで下さい」とビラを配り、

他の者がハガキへの署名を市民に求めた。市民の反応は割合よく、その場でハガキに署名してくれた人が六十人ほどおり、また制服姿の自衛隊員が立ち止まって、プラカードやハガキの文面に見入っている姿が印象的だった。

この間、呉に来る核艦船は七月、八月に集中している。ほとんどは横須賀を母港とするフリーゲート艦で、核・非核両用の対潜魚雷アスロを積んでいる。そこで私たちは、七、八月に予想される来たるべき核艦船の入港にそなえて、一万枚の要請ハガキを準備した。何とか万に近い数の県民の意志を直接呉市長につぎつけたいと思っている。これをやりきることが、五月末世界中で共に行動を起こしたまだ見ぬ人々につながる最高の道であろうと確信している。

(トマホークの配備を許すな
呉市民の会)



広島

平和公園ですわりこみ

五月三十一日、広島市でも「ストップ・ザ・戦争への道ひろしま講座」などの仲間によって「海の軍備撤廃をめざすウィークエンド」の行動がおこなわれた。

午後一時、市内の中心街で「いれるな核艦船」とばすな核攻撃機」と書いたビラを約三千枚配布。その後、平和公園で二時から三時まで二十人が座り込んだ。東に軍港呉、西に米軍岩国基地にはさまれた広島は、真の平和都市なのかという訴えに、多くの市民が耳をかたむけた。

賀須賀 青空ティーチ・インとピースウォーキング 歩き、歌い、語り、漕いだ三日間

五月二十九日に上瀬谷通信基地そばを約三十人で出発した「ピースウォーキング」(主催 上瀬谷基地はいらないウドの会)は天候にもめぐまれ、予定より三十一日午後一時半横須賀臨海公園に到着した。

二十九日夜には、深谷送信所すぐそばの幼稚園に宿を借り、現地の主婦の人々と交流会。ほとんどデモなどとおったことの無いだろう住宅街をぬける一行は大いに注目を浴びた。広島、長崎に向かう途中、三日間をともに歩いた「日本山妙法寺」の人々の太鼓の音は治道の関心と呼んだだけでなく、歩くほうにとっても胸の中まで響くペースメーカーだった。

三十日、退子での交流会は運動の抱える困難も率直に語られて、マスコミの報道だけでは知ることの出来ない感銘深い一夜だった。

一行を迎えて、二時頃から「核艦船の止め方」青空ティーチ・インが始まった。コーヒーやお好み焼き、豚汁の模擬店も出て会場は和やかな雰囲気。核トマホーク艦船入港時の神奈川県と外務省のやりとりをちよびりカラシを聞かせて描いた寸劇でオープン。青空にしみわたるようなオカリナ演奏をはさんで、様々な問題提起があった。「非核コード」で核搭載とされた艦船入港の情報が入ったら、電話で連絡を回して自治体に拒否の要

呉市長

佐々木 有 殿

平和憲法をもつ日本では、「非核三原則」一核は持たず、作らず、持ちこたせずを国是としており、呉市も「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行っています。

にもかかわらず、1986年8月24日 核ミサイル・トマホークをつんでいると思われる駆逐艦メリルが呉に入港し、呉は史上初めて核の発射基地とされてしまいました。

私たちは核の被害者にも加害者にもなりたくはありません。そこで、呉市民の反核の意志を反映して、今後、市民の生活を守る地方自治体の責任として、核はないという証明のない核艦船(特に核トマホーク)の呉入港を拒否して下さいよう切にお願い致します。

私もひとこと

各地から

人吉

えびのVLF送信所建設を目前に

人吉相談会を開催

5/23~24

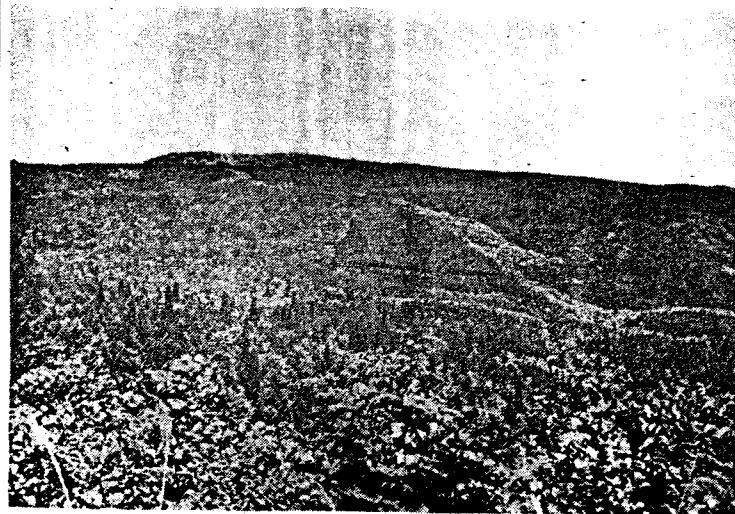
熊本市民センター発行「シビック・インフォメーション」(No 1 87・6・15)より転載

今年度の予算が成立し、えびのVLF(超長波)送信所の建設が目前となった。五月二三日・二四日の両日、熊本県人吉市の相良荘で、えびのVLF送信所建設に反対する人吉相談会が三〇名の参加で開催された。

この相談会は鹿児島の毛利淳二さん・人吉の西清説さん・佐世保軍事問題研究会の佐々木竹一さん・えびの市議の宮浦佳紀さんらの呼び掛けでもたれました。午後七時から始まった相談会ではまず西さんが呼び掛け人を代表して挨拶をおこなったあと、えびの・人吉から報告がありました。えびの市議の宮浦さんは「防衛庁はVLF送信所の建設地を六月二〇日前後に正式決定し、十月に基礎工事に着手するという情報がある。本格工事は来年度と見られる。」

この間えびのでは海上自衛隊のPRが盛んに行われ、市民に浸透を計ろうとしている。「と述べました。人吉市議の立山さんは、「VLF送信所建設が明らかになっていらい、郡市民の会を作り、反対運動を展開してきました。ここにきて、住民運動が停滞している。更に反対運動を強めていきたい。」と述べました。二つの報告の後、製作中であるスライド「あぶな! VLF送信所」(七八コマ・三〇分)の試写を行いました。

この中で、ポールさんは「ウィルクスさんの来日延期はとっても残念です。でも、人間万事塞翁が馬といえますから、今度ウィルクスさんをお呼びする時は、もつとVLF反対の運動を強めておきましょう。」と発言されました。この後、参加者からの報告と発言に移り、佐世保の佐々木さんは、「栗原防衛庁長官は先の国会の答弁の中で、OTHレーダーもアメリカに使わせますと言っている。VLFもアメリカが使うだろう。そうすると、佐世保基地も増強される。」と述べ、東京の軍事民論の増田さんが上瀬谷通信基地のことを、鹿児島の毛利さんは鹿屋にP-3Cの基地が作られることを話しました。討論は、十一時まで続けられ、今後更に各地の運動と交流し、スライド上映運動を広げ、VLF反対



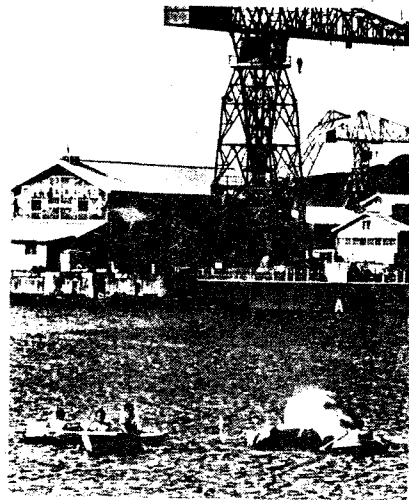
VLF送信所予定地

の声を広げて行くことを確認し相談会を終えました。翌二四日は前日の雨が嘘のような曇りとなり晴天になり、十五名でVLF建設予定地の現地調査を、西さん・宮浦さんの案内で行きました。まず宮崎県がわの高野

産園地から予定地を見、そこから標高七〇〇メートルの予定地に行きました。既に予定地は樹木が伐採されており、昨年九月十三日からおこなわれたボーリング調査の跡も残っていました。予定地のすぐそばには霧島が美しくそびえています。

請をしようという「反核ホットライン」の提案。「ヨコスカ定例デモを一万人に!」との訴え。「核兵器事故」への新しい関心の提起。「核艦船差止め訴訟」の現状。フィジーの政変で関心の集まっている太平洋非核化の動向など多岐にわたった。会場発言では、仙台から駆け付けて「ピースウォーキング」を歩きぬいた八十一歳の西宮さんの発言に大きな拍手がおこった。会場から出発した「平和船団」三隻が風に流されて禁止区域に入込んだとする警察との間に一時緊張した空気が流れたが、大事にはいたらなかった。

デモ行進では、ゲート前でシユプレヒコールのかわりに英語の歌と英語のスピーチ。参加者は約二百人とちょっと少なめだったが、のびやかな三日間の行動だった。(編集部)



依佐美

なくせおいだせ!

通信基地

五月三十一日、「なくせ!おいだせ!依佐美基地 五・三一集会・デモ」が、五十名余の参加で行われました。

集会では、映画「もしも地球を愛するならば」の上映の後、山川曉夫氏の講演が行われました。

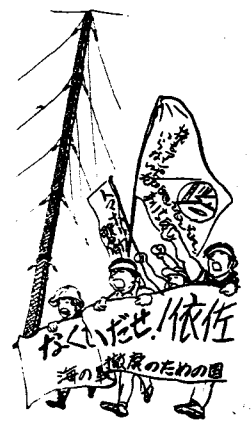
講演の後、京都から参加した多数の仲間を代表して、トマホーク阻止京都連絡会のアピールが行われ、また、地元刈谷から神谷さんのあいさつが行われました。そして、集会に寄せられた国内外からのアピール(境川流域下水道反対同盟の渡辺育穂氏、トマホークの配備を許すな!首都圏運動、ハワイ・ネルソン・フォスター氏、アオテアアロア・リニー・ウェストラ氏、西オーストラリアPND代表・ジョー・ヘイター氏、豊田市会議員・小林取氏)が、読み上げられ、最後に、中曽根への

要求書、角岡刈谷市長、鈴木愛知県知事への要請文を採択しました。

デモは、刈谷勤労会館から、依佐美基地の鉄塔の間を通り、基地北東の森前公園まで行われました。

私たちあいち反戦の会では、今回の行動をとりくむにあたって、①基地周辺への宣伝の強化、②依佐美基地を包囲する運動陣形の形成をめざす出発点とすること、等を確認し、具体的活動を始めました。①の点については、基地周辺千五百戸にビラと手製のリーフレットを配布することができ、②については、その足がかりをつかむことができたと考えています。

今後私たちは、依佐美現地での反核映画祭、署名運動などをやろうとしています。



フィジーにおける核艦船拒否政策を葬り去ることになったランブカ中佐のクーデターのその後に関連して、トマ喰い虫社に寄せられた三篇の手紙を紹介します。第一のものは、渦中のフィジーからのもので、執筆が五月二十一日、消し印が五月二十五日、到達が六月十日と政情不安を反映したように遅れて届きました。執筆者は広くこの手紙を流布させるよう要請していますが、訳者の判断で匿名にしました。残り二篇は、公表を前提として書かれたものではありません。しかし、入門者である私たちが考えを進めるのに示唆にとんでいる手紙ですので、私たちへのヒントとして使わせていただくことにしました。

フィジーのクーデターの国際政治上の意味は明らかであり、私たちはこの点に関心を注いで来ました。しかし、エスニックな諸問題は国際政治上の一つの事件が、いかに固有の日常的課題に深くかかわってゆくかを示しています。逆に、ニュージールランドの核艦船拒否の成功を、皮相に政策的観点からとらえてしまうことの誤りを、改めて知ることができるのではないのでしょうか。私たちの非核化をめざす運動にとっても他人事ではないはずで

す。(梅林宏道)

フィジーをめぐる三つの手紙

一 非核化とエスニシティ

フィジーからの手紙

一九八七年五月二日(木)

フィジー、スヴァ発

親愛なる友人のみなさん。

おそらく、既に御存知だと思いますが先週の木曜日の五月一四日、シチベニ・ランブカ中佐が軍事クーデターをおこし、選出された全閣僚を拘束しました。国土はランブカ中佐の指揮する軍隊の管理下にあります。わが総督ペナイア・ガニラウとチモシ・トゥイヴァが最高裁長官は軍事政権の合法性を認めることを拒否し、交渉はいまだ続けられています。今日が二つの新聞が再発行された最初の日です。

『海の軍備撤廃のための週末』に、大学の展示と、ピラマキをしながらの行進を計画していました。しかし、現在すべての大衆集会は禁じられています。政府転覆は主として

二つのことに関係していると想像する理由があります。一つは土地問題、もう一つは合法政権がフィジーを非核化し米艦船の入港を禁止する意図をもっていること。国民連邦党と組んで先の選挙で同盟党首相カミセセ・マラを破り合法的な連合政権を樹立した労働党は、「リビアの手先」と非難され、共産主義者だと攻撃されて絶えざる監視下に置かれています。

このような状況の下で、ニュージールランドとオーストラリアはそれぞれ二隻の軍艦を沖合に待機させ、事態が悪化したときに彼らの国民を退去させる準備をととのえています。これまでのところ、私たちは、いかなる政治的なステップを踏み出すためにも鎮静化と和解の時間が必要だと信じ、一切の外国に軍事介入を求めています。しかし、私たちは

海外のすべての友人たちに、もし信仰がおありでしたら折りをもつて私たちを支えて下さるよう、そして民主主義のためにフィジーの状態を注視して下さいようお願いいたします。私たちはまた、フィジーには非核でありたいと願う多くの人々がいること、もし私たちが『海の軍備撤廃のための週末』に参加しなかったとしても、それは軍事政権のためであること、を可能な限り広範囲の人々に知らせて下さるようお願いいたします。(略)

私は、アメリカのジェイムス・ライアン提督が、太平洋におけるアメリカの権益を失う

ニュージールランドからの手紙

一九八七年五月二五日

ニュージールランド、オークランド発

第一にフィジー、第二にニュージールランド総選挙に関連して、ニュージールランドの最新状況を伝えるべき時だと思っています。

フィジーについて ニュージールランド軍が今なお待機状態にあります。三隻の軍艦がフィジー近海にあり、空軍の特殊急襲部隊と八機の空軍の輸送機が待機態勢に入っています。とはいえ、これは万一必要なときにニュージ

ことは出来ないと言ったことを知っています。彼は五月二日と四日とタヒチ(ムルロア)にいました。そして五月六日には、フランスは今年最初の核実験を行いました。私は、アメリカとフランスの間に連携があると確信します。おそらくオーストラリアもそうでしょう(フランスにウラニウムを売っています)。どうか、この手紙をできるだけ広めて下さるようお願いいたします。

私たちのために祈って下さい。

署名

ーランド市民を退去させ、ニュージールランド高等弁務官を護衛するための措置であることがいまや明らかになりました。デイビッド・ロンギは賢明にも、ニュージールランドの介入は情勢を混乱させるだけであり、これはフィジーの内政問題であると示唆しました。しかし、ニュージールランド政府は外交的手段によって、一貫してフィジー総督と憲法によって選出されたババンドラ政府を支援しています。

五月二日付の『オークランド・スター』

紙の社説を同封しますが、これはいくつかの重要な点についています。ヴァーノン・ウォルター將軍(訳者注:アメリカの国連大使で反共色の強いタカ派)のフィジー訪問やその他の噂などにてらして、私もCIAの介入が充分にありえたと考えますが、問題はフィジー人の体制内の非良心的な人々によって搾取されてきた人々の正当化されない恐怖に起因しているフィジーの内政問題です。(実際、フィジー憲法はフィジー先住民の権利を保証しているのです)。その上、ババンドラ政権はその憲法を廃棄するような多数派を獲得してはいなかったのです。憲法を変えたいと思っていたという証拠もありません。

私は、非核独立太平洋運動にかかわっている白人が、今こそあらためて先住民の地位の規範的な本性に対する絶対的な、ほとんど信仰的とも言える受容の意志を再表明する必要があります。ここニュージールランドでは、マオリの活動家たちがフィジーの軍事クーデターを支持しようとしています。私は、先住民の権利個人の権利はもちろんのことコミュニティの権利を支持することは大切なことだと考える一方、私たちは無批判的にそうしてはならないと思います。フィジーには特別の憲法上の保証事項があります。また、

「ここニューギニアランドではその方向に重要な前進が待ちとれようとしています。もちろん、とりわけオーストラリアやカナキイ（訳者注：ニューカレドニア）においては、もっと多くのことがなされるべきです。しかし、フィジーの軍事クーデターのような事態は他の場所でも充分に起こりうることであり、先住民の進む道を絶対化して追従するとき、私たちは、抑圧者に手を貸す結果になるかも知れないのです。」

ニューギニアランド総選挙について 選挙は八月十五日ないしその近辺になりそうです。最近の世論調査は、意識的な有権者の一定多数がずっと労働党を支持しています。しかし、

ハワイからの手紙

一九八七年六月一三日

ハワイ、ホノルル発

このメモは、フィジーのクーデターをとりまく鍵となる事実や問題を明らかにし討論するための試みです。二週間前にこのメモを書き始めたとき、私はゆき詰まり状況の複雑さと私の知識の限界に狼狽しました。その時より私の知識は確かに増加しましたが、状況はそれほど明らかにありませんでした。実際、

有権者の多数（三〇パーセントに達します）がまだ態度を決めておらず、一二週間のうちに色々なことが起こるでしょう。

労働党は大企業に支持されており、そのため有効な宣伝活動に必要な資金を際限なく持つています。平和運動や労働組合は、しぶしぶ労働党を支持しています。反対党の国民党の政策を望まないからです。（それ以上の何物でもありません！）。アパルトヘイト反対運動も同性愛者の権利運動も政府を支持しています。

時がすべてを証明するでしょうが、今のところ総選挙は反核の結果を生みそうです。（略）

心をこめて 署名

多くの事実を知れば知るほど問題は複雑に思えました。

従ってこのメモは、整理するために私たちの間に議論を促すためのものです。（略）ハワイにおいても、アオテアロア（訳者注：ニューギニアランド）においても、おそらく他の場所においても、クーデターを支持する先住民がいます。私は、非核独立太平洋運動の中で、この問題は熱い論争をまき起こすのでは

ないかと思っています。（略）

いくつかの論点を紹介します。

一、非核独立太平洋運動が先住民の権利を回復し保持するという目標を支持することに全く異論はありません。おそらくその中でも土地の権利は最も重要なものでしょう。これは運動の基本テーマです。したがって、フィジー先住民がクーデター以前、最中、以後に述べている土地を失うことへの恐怖心は、私たちの良心を強力にゆさぶります。

しかし、これらの恐怖心は、フィジー憲法に与えられている保護条項やババンドラ政権の政治方向や言明に照らしてみると正当化されえないように思われます。フィジーの教会で働いているある進歩的な白人は、六月一日に「もしフィジーの現行憲法が述べていることを人々が本当に知れば、土地や権利を失う恐怖心をかきたてるような手段は存在しないでしょう」と書いてきました。（略）

二、この場合、重要な問題点は、多くの声が聞かれる中で、非核独立太平洋運動の中の私たちがどの声を本当にフィジー先住民とその願望を代表していると見なすかという問題です。もちろん、ババンドラはフィジー人であり、少なくとも彼の出身地域のしゅう長たちの固い支持を得ているようです。彼はまた

フィジー人の間にも一定の支持を得ています。しかし、軍が彼の土着の支持者たちをクーデター後スヴァ市から追い出したこともあって、それがどれ程強いものであるのか明確ではありません。『ファー・イースタン・エコノミック・レビュー』（五月二八日）のハミッシュ・マクドナルドによれば、ババンドラは「できるだけ多くのフィジー人を彼の連合内閣に入閣させ」たし、またメラネシア連帯に深くかかわっている進歩派として、彼が彼の民族を売る人物ではありえないように思われます。では、他のフィジー人の声はどうでしょうか。労働党の副総裁でありフィジー反核グループ（FANG）の活動家でもあるシモアン・ドゥルターロは、クーデター後、ジム・アンソニーと組んでフィジーの民主主義のための国際運動を設立しました。非核独立太平洋運動のスタッフになったかもしれないFANGの行動的な活動家であるアメリカ・ロコトウイグナはクーデターに反対する抵抗運動を指導したために逮捕されました。

非核独立太平洋運動は、このような人々を選んで支持するのでしょうか。もしそうなら、私たちはその立場をどう正当化すればよいのでしょうか。フィジー人の多数派はクーデターを支持していないと言えないでしょうか。

とするならば、多数派は操作されてきており自らの最善の利益を追求していないという前提にたつて、私たちは「非民主的」に多数派を無視するのでしょうか。

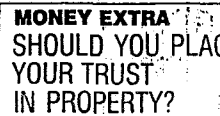
三、シモアン・ドゥルターロはクーデターは人種的な衝突ではなく階級闘争として見るべきであると信じています。クーデターは、特権的なフィジー人や裕福なインド人と共に前首相マラが動いたものであると彼は見なしています。選挙で失った権力をとり戻し、ババンドラ政権が貧しい人々を解放してマラと同盟党を永久に葬り去るという正義のプロگرامを実行するのを阻止したというものです。前同盟党の閣僚アピサイ・トラが恐怖心と暴力をかり立て、ランブカ中佐に「これ以上の暴力を阻止する」口実を与えたことに注目して下さい。マラがクーデターを促進するのに果たした役割が何であったのかは明らかではありませんが、彼は明らかな受益者の一人です。

四、もし、シモアンの言う通り人種闘争ではなく階級闘争であるとするならば、少なくとも部分的には伝統的なフィジー人指導者「つまり」ラツ」が社会ヒエラルキーの頂点に彼らの地位を保持するための闘争ということになります。ババンドラ首相は下位のし

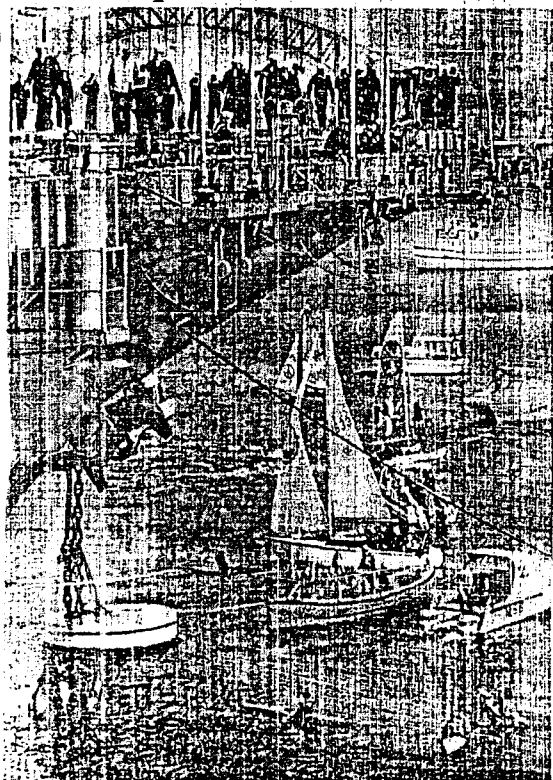
ゅう長であり、マラは上位しゅう長の一人であることに注目して下さい。最終的にはクーデターの結果は大しゅう長会議で終結させられたように思われます。大しゅう長会議はイギリス植民地支配以前の支配機関であり今日でも高く尊重されているものです。

土着の人々と伝統を支持する志向をもっている非核独立太平洋運動が、しゅう長たちに反対をする立場をとることは可能でしょうか。もし可能だとすれば、どのようにしてそれを正当化できるでしょうか。西欧民主主義の原則によってでしょうか。「しゅう長の中には民主主義はフィジーに適さないと語っている人もいる」という教会で働いている私の友人の言葉は興味があります。（略）（西欧の基準で判断した）抑圧者が大しゅう長会議のような伝統的機関によって合法化されるとき、非核独立運動はどのような基準で彼らに反対するのでしょうか。

五、非核独立太平洋運動の目標を事実上実現している他のメラネシアの国々は、クーデターへの不干渉を求めた要請を發しました。もし、ウォルター・リニ（訳者注：バヌアツの首相、メラネシア連帯の指導者）のような進歩的な指導者がクーデターを内政問題と見なし、フィジーで保守的な力が権力をのっと



Peace squad hails 'wild success'



Water police, bottom left, attempt to keep protesters at bay during Midway mooring manoeuvres in Sydney Harbor yesterday.

Anti-nuclear demonstrators yesterday described as "wild" success their waterborne protest against the American aircraft carrier USS Midway as it entered Sydney Harbor.

About 150 people aboard a variety of flimsy craft formed a line from Broadway Head and then aimed for the Midway, bow as three tugboats hauled the 64,000-tonne vessel to a mooring off Taronga Zoo. More than a dozen

平和船団「大成功」
をおさめる

昨日の米空母ミッドウェーのシドニー入港に対する水上抗議デモはデモ隊側の言葉を借りれば「荒々しいまで大成功」であった。

この日約150人が多種多様な小型の舟に乗り、ブラッドリー埠頭を端に一線に並び、三隻のタグボートに曳航されてタロンガ動物園沖に停泊した6万4千トンの空母の艦首に向かった。1ダース以上の当局の船が出動したがデモ隊が空母に近づくのを止めることは出来なかった。

シドニー平和船団のミシェル・グロスヴェナー女史はこの日の抗議行動は何の失敗もなかったと次のように語った。「余りにも無謀だと誰が見てもコントロールの効いた行動でしただけでも一言われても、この行動は大成功でした。当局の関心をひきつけたのですから」。

約30隻のカヤックと5つのサーフボードが時折ミッドウェーに手を触れる様な距離まで接近した。当局が後で語ったことによれば殊に危険だということはなかったとのこと。空母のけい留具に自分の舟を鎖でつないだ人もいたが、警察に排除された。なお逮捕者はなかった。

ミッドウェーは1942年のミッドウェー海戦を記念して今月オーストラリアを訪問する米艦船11隻の一つである。

●ビーズリー国防相は、昨日、デモ隊は責めを負うべきであると表明した。

るのを静観しようとするのであれば、非核独立太平洋運動はどのように一方の味方に立つことが出来るでしょうか。

六、フィジーとカナキーのような他の南太平洋諸国との間には重要な違いがあるように思われます。つまり、フィジーでは植民地的搾取の一部としてフィジーに移動させられたインド人という土着ではない人々が多数住民になっていることです。(略)過去の帝国主義者によって残された非土着の住民は正義を主張できるのでしょうか。非核独立太平洋運動はこの問題を深刻に討論してはいないと思います。

七、私たちはみんなクーデターにおけるアメリカの役割について推測をしています。これまでのところ「煙の出ている鉄砲」は見つかっていません。しかしクーデターは間違いないアメリカの利益に奉仕しました。イエスマンのマラが権力につき、軍艦拒否の可能性は拭い去られ、非核独立太平洋運動を分裂させる気配さえあります。相当な打撃です。もちろん、アメリカの介入について充分な証拠が見つければ、非核独立太平洋運動はこの上に乗ってキャンペーンを行い、より問題のある他の問題に立ち入らないことも可能でしょう。



コワくないよ

恐ろしい顔をした「オカに上がったサメ」の口の中に手をいれる二歳半のエリザベス・トッドハンターちゃん。昨日州立キャピタル運動場で開かれた海の軍拡競争をストップさせようとの集会での一コマである。この集会は海の平和利用を訴えるもので、主催はアメリカ・フレンド奉仕委員会と海の軍備撤廃を！太平洋運動。そうそう、件のサメ、扮するのはフレンド奉仕委員会のロイ・タクミさんでした。 6月1日付

八、多くの点で事態は非核独立太平洋運動が避けてきた問題に降りてきているように思われます。非核独立太平洋運動はどこまで先住民の政治的多数派との連帯に基礎をおき、どこまで私たち自身の(多分外来の)政治的理想に基礎をおくのでしょうか。ペラウの場合には、非核独立太平洋運動は長く少数派と固く連帯してきました。少数派が非核憲法を守り、多数派はペラウの非核も独立も捨てる

ことなる協定を受容しようとしてきたのです。マラの権力への復帰は、ほとんど確実にフィジーがアメリカの衛星となる軌道に戻ることを意味するでしょうから、クーデターは同様な問題を提起しています。(略)

以上のような課題について、どうかあなたの方の意見をお聞かせ下さい。(略)

署名

会計報告 87 3/5 ~ 6/3

収入	支出
前月の繰越 101,827	家賃 3~6月分 160,000
会費収入 324,000	電話代 2~5月分 20,215
内記種別 66,000	郵便費 71,635
種別 120,000	文具代 24,965
会費 12,000	印刷代 73,000
会費 57,000	会場費 7,800
通 69,000	送料 5,240
カンパ収入 62,000	その他 6,670
他 22,198	前月の繰越 132,400
計 511,025	計 511,025
	(会計担当 水野)

トマホークの配備を許すな！全国運動

第9回 全国会議

のご案内

ぜひ参加して下さい

●とき 7月11日(土)~12日(日)

●ところ 呉温泉

(広島県呉市中央6-3-20 ☎0823-24-3535)

●参加費 2000円

(宿泊費4000円は別)

●時間割

11日	14時半	開会
	14時半~16時半	オープン・セッション 「中国地方の反基地運動」
	16時半~18時	討議Ⅰ
	18時 ~19時	夕食
	19時 ~21時	討議Ⅱ
	21時 ~	交流会
12日	9時 ~13時	討議Ⅲ、Ⅳ
	13時	閉会

★主な討議事項

- ①核艦船の止め方(横須賀、佐世保、呉…)
- ②C I 基地反対の闘い(依佐美、上瀬谷、えびの…)
- ③反基地運動を何でつなげるのか(三軍統合演習、チームスピリット、リムバック…)

などなど

[連絡先] トマホークの配備を許すな！呉市民の会

☎0823-21-2414 (小田原)

73-4660 (湯浅)

月刊反トマホーク通信 No 20

*発行 トマホークの配備を許すな全国運動

(東京都渋谷区渋谷二一五九パル

青山五〇二 トマ喰い虫社

☎〇三(四九八)六〇九五

*編集 反トマホーク通信編集委員会

*定価 100円(通信会員年間2000円)